

しゃかいしほんそうごうせいびけいかく
社会資本総合整備計画

おおいたけんさいきし
(大分県佐伯市)

平成30年12月(当初)
令和 3年 3月(第1回変更)

第3章市街地整備

だい き じしん つなみとうさいがい そな げんさい すいしん ぼうさい あんぜん じゅうてんけいかく
(第2期)地震・津波等災害に備えた減災まちづくりの推進(防災・安全)(重点計画)

おおいたけんさいきし
大分県佐伯市

平成30年12月(当初)
令和 3年 3月(第1回変更)

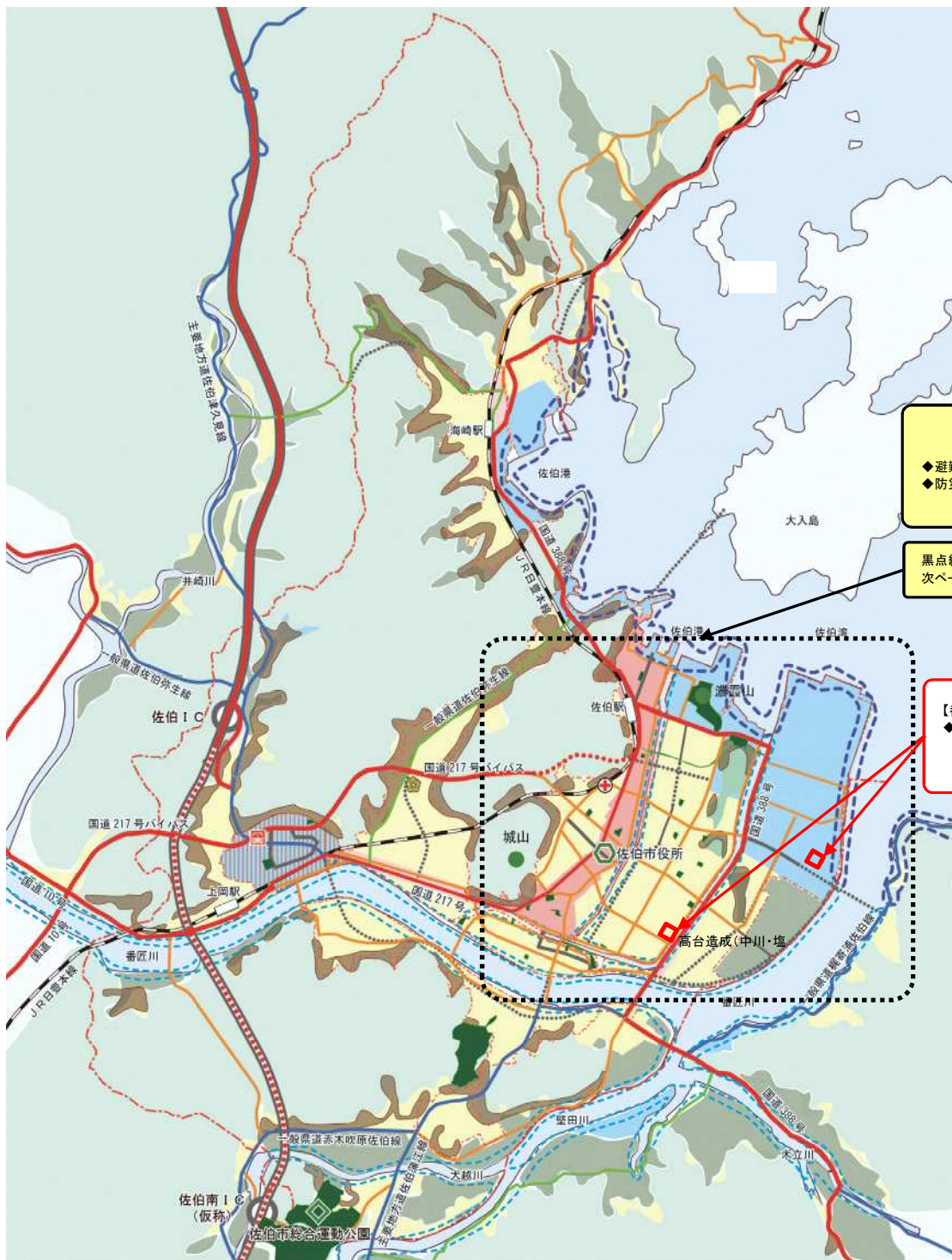
社会資本総合整備計画

令和 3年 3月20日

計画の名称										1 (第2期) 地震・津波等災害に備えた減災まちづくりの推進(防災・安全) (重点計画)			重点計画の該当		○					
計画の期間					平成31年度(令和元年度) ~ 令和2年度 (2年間)					交付対象		大分県佐伯市								
計画の目標																				
<p>佐伯市は、南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に指定されており、今後30年以内に70%から80%で発生するとされている南海トラフ巨大地震(マグニチュード9.1)では、市内で最大震度6強、最大津波高は13.5mと想定されている。この南海トラフ巨大地震への対応を喫緊の課題として捉え、最終的には、大分県地震津波被害想定調査結果(25年3月)で示された「減災対策による軽減効果(市内における死者数約8千5百人を1桁の人数に抑制)」の実現を目標に、避難施設等の整備と併せ早期避難行動の徹底を図る。あわせて、同地震発生時には、最大で2万9千人の住民が避難生活を送ると想定されていることから、迅速な避難者支援を行うための体制構築を目指す。</p> <p>本計画では人口が密集する市街地の浸水区域を重点的に整備することとし、避難地の整備を行う。避難地の整備については、津波避難施設整備重点地域を指定する中で、高さは十分に確保できるものの地形的な面から平場の確保が困難な女島山及び長島山の避難地整備と池船地区に避難タワーの整備を行ってきた。また、特定避難困難地域を抽出し、対象地域となる中川、塩屋地区に人工的な高台を造成、女島地区に避難タワーの整備を前計画に引き続き行い、特定避難困難地域の解消を行い、緊急的な避難場所を確保する。なお、本整備計画の掲載事業は、「佐伯市地域防災計画」及び平成27年度に策定した「津波避難対策緊急事業計画」に項目・内容等を盛り込み、整備方針等についての位置づけを図る。</p>																				
計画の成果目標(定量的指標)																				
<ul style="list-style-type: none"> 津波避難施設整備重点地域において、避難者が緊急且つ安全に避難でき一時的に滞在することが可能な避難地スペース(平場)をH33末までに9,100㎡以上に増加させる。 防災情報伝達の強化を図るため、防災・行政ラジオの配布率を80%に増加させる。 地域防災活動の基盤となる自主防災組織の組織率を100%に増加させる。 																				
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値					備考					
<ul style="list-style-type: none"> 津波避難施設整備重点地域において、避難者が緊急且つ安全に避難でき一時的に滞在することが可能な避難地スペース(平場:㎡) 										当初現況値 (H31R1当初)		中間目標値 (R1末)		最終目標値 (R2末)		地域内の計画避難対象人口 8,896人(H27.12時点)				
										約6,200㎡		9,100㎡以上		9,100㎡以上						
<ul style="list-style-type: none"> 防災・行政ラジオの一般家庭への配布率を算出 (ラジオの配布率) = (目標とする配布世帯数) / (平成27年国勢調査人口等基本集計(総務省統計局)の世帯数) 										54.2%		70.0%		80%		国勢調査による世帯数:29,574世帯				
<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の結成率 										90.4%		95.0%		100%		市内地区数:371地区				
全体事業費			合計 (A+B+C+D)		606.4百万円		A	606.4百万円		B	-	C	0.0百万円		D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)		0.0%	
交付対象事業																				
A6 都市防災・公園事業					効果促進事業費の割合															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考				
									H31R1	R2	R3	R4	R5							
A13-001	都市防災	一般	佐伯市	直接	佐伯市	地区公共施設等整備(女島地区、中川・塩屋地区)	津波避難タワー1基、人工高台1箇所	佐伯市						606.4	-					
小計(都市防災・公園事業)														606.4	-					

(参考図面) 地区公共施設整備

計画の名称	(第2期) 地震・津波等災害に備えた減災まちづくりの推進 (防災・安全)		
計画の期間	平成31年度 (令和元年度) ~ 令和2年度 (2年間)	交付対象	大分県佐伯市



《整備箇所凡例》

- ◆ 避難地整備箇所.....
- ◆ 防災備蓄倉庫整備箇所.....

黒点線・・・市街地エリア
次ページに拡大図貼付

【都市防災総合推進事業】

- ◆ 避難地整備箇所 2箇所
- 高台造成(中川・塩)
- 避難タワー整備(女島)

<p>《凡例》</p> <p>防災に配慮した土地利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 土砂災害の防止 防潮堤等津波防災施設の整備 河川堤防の保全・整備 <p>都市の防災構造化</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路 第1次ネットワーク 第2次ネットワーク 第3次ネットワーク(県道) 第3次ネットワーク(市道) 	<p>避難地・避難路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災拠点 広域避難拠点 公園や広場等の保全・整備 (全城) 災害に強い建物の整備 (全城) 地域防災体制の整備・充実 警察署 消防署・分署 災害拠点病院 	<ul style="list-style-type: none"> 都市間交流軸(東九州自動車道) 幹線道路 現道のない幹線道路 商業地 近隣商業地(沿道型商業地) 住宅地 工業地 森林 農地 河川・水面 	<ul style="list-style-type: none"> 行政界 都市計画区域 用途地域 鉄道 用途地域の指定のあり方を検討する区域 <p>0 500 1000 2000m</p>
--	---	---	---